

社会科課題追究学習作品への取り組み方

休日や、夏休みなどの長い休みをつかって社会科の作品づくりに取り組んでみませんか。

小学校の低・中学年であれば、おうちのひとといっしょに取材し、まとめることも、とてもよい

経験になります。追究したい課題と調べ方がはっきりすれば、夏休みに入る前に学校の友達にアンケートに協力してもらうという方法もあります。

この紙面を参考にして、ぜひ挑戦してみてください。

【課題の見つけ方】

身近な生活の中で感じたきもみや、社会科の学習の中で、もっとくわしく調べてみたくなったことをたくさん書き出してみましょう。

「なぜ～なのか。」 「～はどうなっているのか。」 「～さんはなぜ～するのか。」

それらの中で、これを調べて考えていけば、追究したいことがふくらんでいくと考えられるものを一つ決めて課題としましょう。

【予想の立て方】

決めた課題について、今までに見たことや聞いたこと、学習したことなどから考えてみましょう。「きっと～だと思ふ。わけは～。」というように予想を立てましょう。

【調べる内容】

自分が立てた予想を確かめるためには、「この事実が分かればよい。」 「～について調べればよい。」というように、調べる内容をはっきりさせましょう。

【調べ方】

インターネットで簡単に資料が手に入るようになりましたが、出かけて情報を得たり、体験を通して調べたりすることで、大切な見方や考え方が養われます。

どこで：現地で、図書館で、資料館で

どのように：見学・調査

アンケートやインタビュー

電話

本や資料集で

インターネットで

※出典を明記

しましょう



<作品展の様子>

【まとめ方】

調べたことを、絵・グラフ・写真・地図などをつかって分かりやすくまとめましょう。

次に、そこから考えたことを自分のことばでくわしく書いてみましょう。そのときに課題とつないで書くことや、予想と比べて書くことを大切にしましょう。

分かってきたことの中で、自分ができていることを考えて実践し、自分の生活に生かしてみたり、自分が直接できないことについては、考えをまとめて役所などへ提案してみたりすることもよい方法です。

さらにきもんに思ふことやなっとくできないことについては、調べ方をはっきりさせて追究してみましょう。(このくり返しがより深い研究につながります。)